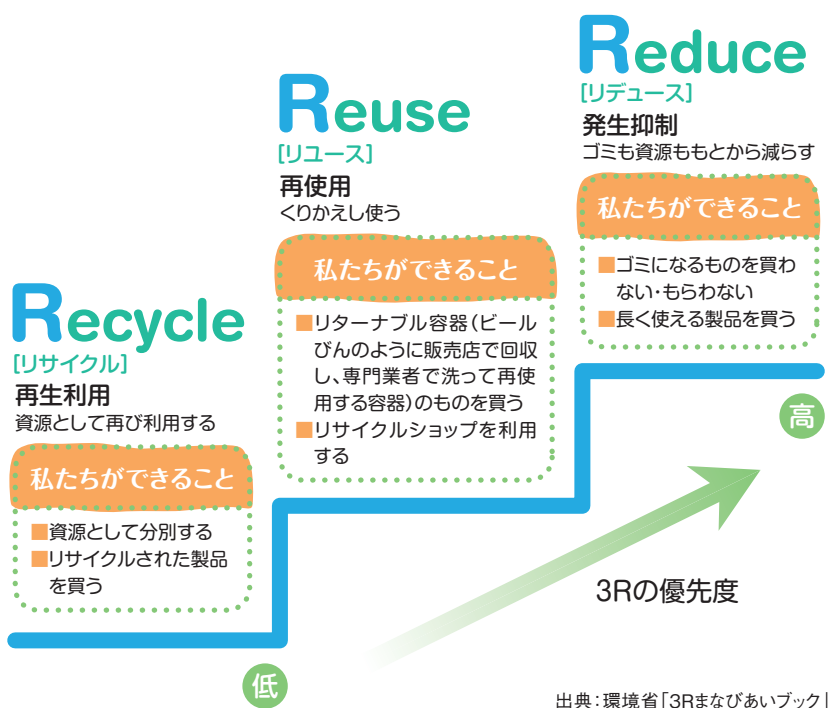


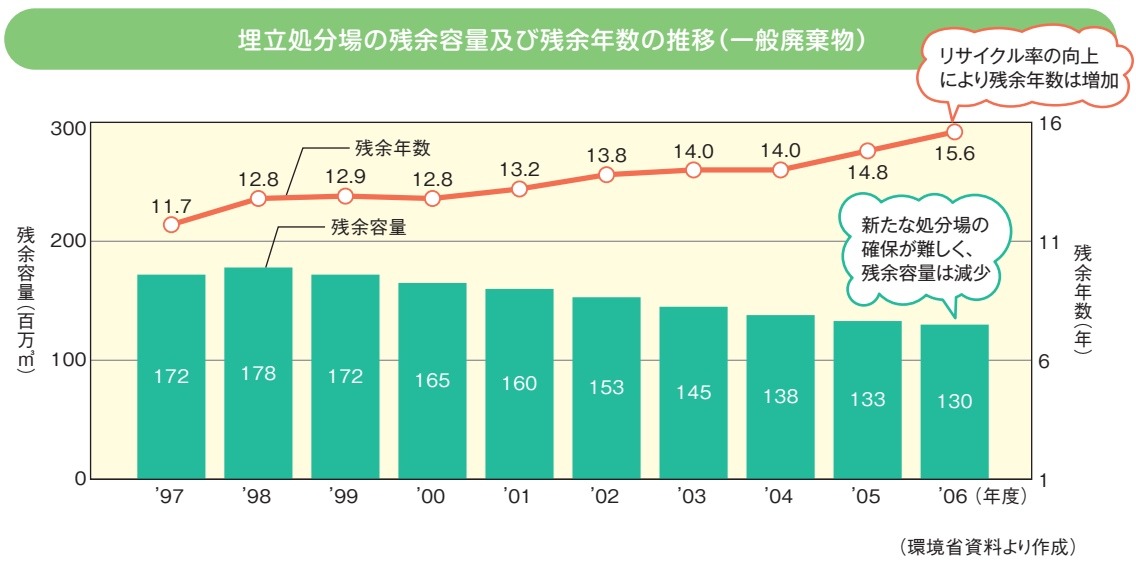
たかがゴミ、みれどゴミ、ちよつと気になるゴミ、どいふ。

みなさんは、**ゴミの3R**に取り組んでいますか？
 3Rとは、**ゴミの量**を**減らす**の**R**で減らすことと、**1**つ目の**R**は**ゴミの量**を減らす**リデュース**(Reduce)、**2**つ目の**R**は**一度使ったものを繰り返し使う****リユース**(Reuse)、**3**つ目の**R**は**使い終わったものをもう一度資源に戻して製品にする****リサイクル**(Recycle)のことです。



ちりも積もればヤマとなる...
埋立処分場は満杯間近!?

リユースも、リサイクルも難しいゴミは、埋立処分することになります。その量は、リサイクル率の向上で減る傾向にあるため、**残余年数**(埋立処分場が満杯になるまでの残り期間)は延びています。しかし、埋立処分場は新たな場所の確保が難しいので、**残余容量**(埋立処分できる量)は減っています。
 私たち一人ひとりの3Rへの取組みにより、**ゴミの量をできるだけ減らす**ことが、とても重要なのです。





矢野さんの ワンポイントアドバイス

ゴミを資源にかえる、ひと工夫。

★リサイクルの中で見落とされがちなのが「紙のリサイクル」です。

新聞や、雑誌、段ボールなど以外にもリサイクルできるものが沢山あります。お菓子の入っている紙箱や、トイレットペーパーの芯、ダイレクトメールだって個人情報が入っている部分を除けば、リサイクルに出すことができます。ゴミ箱とは別にリサイクル用の箱を用意しておけば、そこにに入れていだけなので家事も楽になり、資源を増やすこともできます。

★また最近では、生ゴミ処理機の購入に補助金を出してくれる市区町村も多くあります。補助金の額や申請方法は地域により異なりますので、お住まいの市区町村のホームページで確認したり、直接お尋ねください。ベランダ菜園や家庭菜園をやっている方は特に、生ゴミが肥料に変わりますので是非チェックしてみてくださいね。

九州電力では、廃棄物(ゴミ)の3Rを徹底して、 最終的に埋立処分する廃棄物の量をゼロにする “廃棄物のゼロエミッション”に挑戦しています。

産業廃棄物はほぼ100%リサイクルしています。

当社から発生する廃棄物には、火力発電所から発生する石炭灰、配電工事に伴う廃コンクリート柱(電柱)や電線くずのほか、オフィス活動に伴う古紙やダムの流れ木などがあります。

これらの廃棄物には、適切な管理・処理を行うとともに3Rを徹底しており、産業廃棄物のリサイクル率は、ほぼ100%となっています。

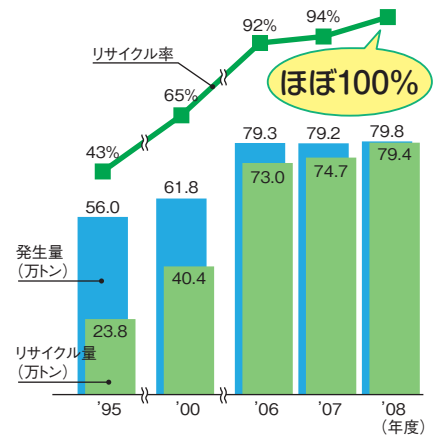
古紙は、2002年度から継続して 100%リサイクルしています。

古紙リサイクル率100%に向けた取組みを開始した2002年度以降、100%リサイクルを継続しており、回収した古紙の一部は、グループ会社の九州環境マネジメント(株)で、当社のロゴマーク入りコピー用紙、紙ひも、トイレットペーパーに再生されています。



回収した古紙で作った製品

産業廃棄物の発生量とリサイクル率

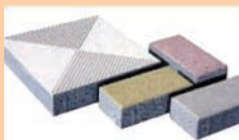


リサイクル(再生利用)への取組み例

石炭灰



火力発電所で発生する石炭灰



舗装ブロックとして再生利用

廃コンクリート柱



廃コンクリート柱を破砕



建築用骨材として再生利用

ダムの流木



ダムへ流入してきた流木



園芸肥料として再生利用

当社作業服



使用済みの作業服



軍手として再生利用